

## 2023年3月期 決算説明会 Q&A サマリー

### Q: 国内の東北、春日井、四日市工場と海外の CKD 中国工場の現在の状況

A: メモリ関連を中心とした半導体設備投資の調整局面などにより、3Q と比べて稼働は落ちております。

### Q: 部材の調達価格

A: 調達も含めて以前のようには戻っておりません。徐々に良くなっておりますが、部材価格も若干影響が出ております。

### Q: 自動機 リチウムイオン電池用巻回機のビジネス

A: 数年先の設備投資のお話も出るなど、お客様は投資に意欲的とみております。また、弊社は国内を中心に活動しております。

### Q: 機器 2024年3月期 業績予想の考え方

A: 前期対比で、売上高の減少および原価率変動分による減益を想定しております。販売管理費は減少を見込み、プラスに効くとみております。

### Q: 機器 2024年3月期 空気圧機器の業績予想

A: 国内は半導体設備投資減速の影響を受け、海外はある程度リスクを折り込み、減収を予想しております。

### Q: 機器 半導体市場の動向

A: スマートフォンやパソコンなどの需要は引き続き弱さがみられます。また、DRAMやNANDのメモリ向けでは価格調整が継続されております。半導体の在庫調整の影響で慎重な投資が継続している環境と認識しておりますが、下期にかけて緩やかに回復することを期待しております。

### Q: 設備投資 2024年3月期予想 230億円の考え方

A: 国内では北陸工場と東北工場2期工事、海外ではインド工場とマレーシア工場といった建物への投資に占める割合が大きいため、設備投資は前期に比べて100億円以上増える見込みですが、減価償却は横ばいの66億円を予定しております。

### Q: 来期以降の半導体需要 再拡大における対応

A: 需要回復に合わせて北陸工場と東北2期工事分の工場が稼働し始め、生産能力を上げながら需要をしっかりと取り込んでいきたいと考えております。